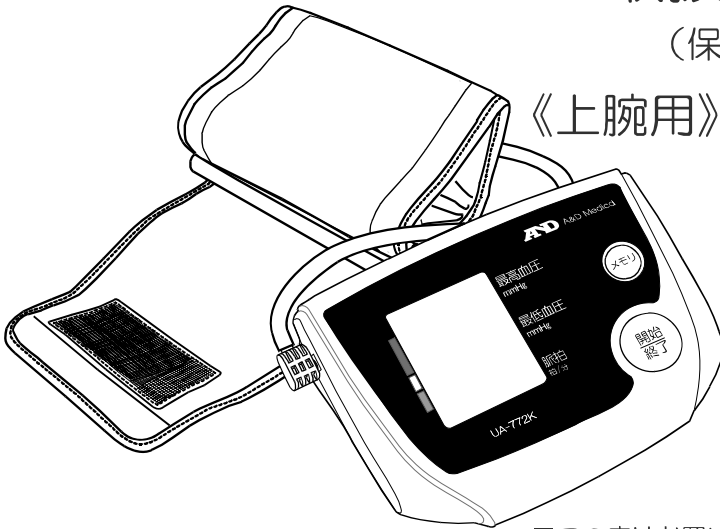


かんたん操作

血圧計のつかいかた

UA-772K 取扱説明書

(保証書付き)



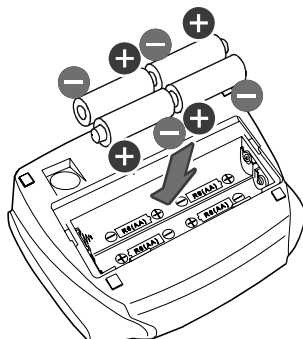
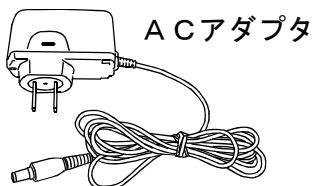
上腕の太さ：22～32 cm

- この度はお買い上げいただき誠にありがとうございました。
- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 裏表紙が保証書になっていますので紛失しないように保管してください。

使いかた—かんたん操作—

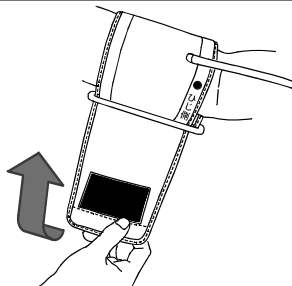
1

電源を準備する
(☞ 5～8ページ)



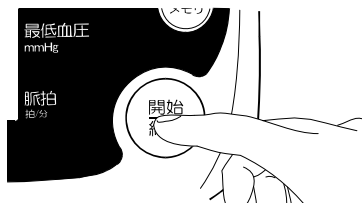
2

カフを正しく巻く
(☞ 9～10ページ)



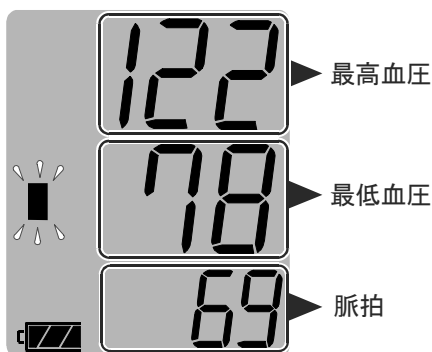
3

測定をする
開始/終了スイッチを
1回押してください。
(☞ 11～15ページ)



4

測定結果を確認する
(☞ 21～24ページ)



測定結果

ご使用になるまえに

安全上のご注意

<必ずお守りください>.... ii

●一般的な注意事項..... iii

●ACアダプタの取り扱い
について..... v

●乾電池の取り扱いについて... vi

●点検・修理について..... vii

血圧測定の前まえに..... viii

確認しましょう..... 1

そろっていますか?..... 1

各部のなまえと表示..... 3

血圧計本体..... 3

カフ・液晶表示部..... 4

電源を準備しましょう..... 5

乾電池を入れる..... 5

乾電池を交換する..... 7

AC アダプタを使用する..... 8

使いかた

カフを巻きましょう..... 9

カフを巻く..... 9

測定をしましょう..... 11

血圧を測定する..... 11

手動加圧で測定する..... 15

便利な機能..... 16

メモリ機能について..... 16

圧力表示バーの機能に
ついて..... 18

お手入れについて..... 20

お手入れと保管..... 20

血圧まめ知識

血圧について..... 21

血圧とは..... 21

高血圧の症状とは..... 22

脈とは..... 23

IHBマークとは..... 24

困ったときは

血圧 Q&A..... 25

どうしてかな?と思ったら... 25

修理を依頼するまえに..... 26

エラー表示がでたときは... 26

故障かな?と思ったら... 27

仕様・保証について

仕様について..... 29

仕様..... 29

保証規定

保証書

安全上のご注意 <必ずお守りください>

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害（*1）を負うことが想定されるか、または物的損害（*2）の発生が想定される内容を示します。

- *1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。
- *2：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどに関わる拡大損害をさします。

図記号の説明



禁止

⊘は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。

具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



強制

●は、指示する行為の**強制**（必ずすること）を示します。

具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。




注意

△は、**注意**を示します。

具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

● 一般的な注意事項

 **注意**



禁止

**測定結果をもとに、自己判断で治療しない
薬剤の服用および治療については医師の指示に従ってください。**
※ 守らないと、病気が悪化することがあります。

お子様だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
※ 守らないと、ケガ・事故の原因になります。

点滴・輸血中の人には使用しない
※ 守らないと、体調不良を起こすことがあります。

長時間、繰り返して測定をしない
※ 守らないと、ケガ・誤測定の原因になります。

血圧測定以外の目的で使用しない
※ 守らないと、事故・故障の原因になります。

可燃性・支燃性ガスを使用する環境では使用しない
※ 守らないと、火災・故障の原因になります。

カフを腕に巻かない状態で加圧しない
※ 守らないと、故障・誤動作の原因になります。

衝撃を加えたり、落下させない
※ 守らないと、故障の原因になります。

強い静電気や電磁波に近づけない
※ 守らないと、故障・誤動作の原因になります。

● 一般的な注意事項（つづき）

注意



禁止

測定中に携帯電話を使用しない

※ 守らないと、誤動作の原因になります。

専用のカフ以外は使用しない

※ 守らないと、誤測定・誤動作の原因になります。



分解禁止

分解・修理・改造はしない

※ 守らないと、火災・感電・故障の原因になります。



強制

ペースメーカーなど（体内埋め込み型医用電気機器）を使用している人は、必ず医師とよく相談のうえ、影響のないことを確認してから使用する

※ 守らないと、病気が悪化することがあります。

腕部に重度の血行障害のある人は、必ず医師とよく相談の上、影響のないことを確認してから使用する

※ 守らないと、体調不良を起こすことがあります。

この取扱説明書をよく読み、理解してから使用する

※ 守らないと、事故・故障の原因になります。

加圧値が280mmHg をこえそうなときは、ただちに測定を中止する

※ 守らないと、圧迫により腕に一過性の内出血を起こすことがあります。

手動加圧をするときは、この取扱説明書（👉 15 ページ）を参照し、正しく使用する

※ 守らないと、圧迫により腕に一過性の内出血を起こすことがあります。

● ACアダプタの取り扱いについて

⚠ 注意



禁止

タコ足配線で使用しない

※ 守らないと、火災・感電・誤動作の原因になります。



強制

**コンセントからACアダプタを抜くときは、ACアダプタ本体を持って抜く
血圧計からアダプタプラグを抜くときは、アダプタプラグを持って抜いてください。**

※ 守らないと、火災・感電・故障の原因になります。

長時間使用しないときは、必ずコンセントからACアダプタを抜く

※ 守らないと、火災・感電の原因になります。



発火注意

専用のACアダプタ（TB233）以外は使用しない

※ 守らないと、火災・感電・故障の原因になります。

AC100V以外の電源では使用しない

※ 守らないと、火災・誤動作の原因になります。

ACアダプタのコードを束にしない

※ 守らないと、火災・感電の原因になります。

ACアダプタのコードの上に物を置かない

※ 守らないと、火災・感電の原因になります。



感電注意

ぬれた手で、ACアダプタをコンセントから抜き差ししない

※ 守らないと、感電・ケガの原因になります。

● 乾電池の取り扱いについて

⚠ 注意



禁止

単3形マンガン（またはアルカリ）乾電池以外は使用しない
※ 守らないと、故障の原因になります。

新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない
※ 守らないと、故障の原因になります。

乾電池の **+** **-** を間違えて使用しない
※ 守らないと、故障の原因になります。



強制

万一、乾電池の液が目に入ったときは、すぐに多量のきれいな水で洗い流す
必ず医師の治療を受けてください。
※ 守らないと、失明など障害の原因になります。

万一、乾電池の液が皮膚や衣服についたときは、すぐに多量のきれいな水で洗い流す
※ 守らないと、ケガなどの原因になります。

乾電池は、使い切ったら4個同時に新しいものと交換する
※ 守らないと、故障の原因になります。

長期間（1ヶ月以上）使用しないときは、乾電池を取り出しておく
※ 守らないと、故障の原因になります。

使用済みの乾電池は、お住まいの市区町村の指導に従い処分する
※ 守らないと、火災・事故の原因になります。

◎ 点検・修理について

注意



強制

異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、点検・修理を依頼する

※ 守らないと、事故・故障の原因になります。

血圧測定の前

◎ ご家庭での血圧測定的重要性

高血圧は症状が出ないため放置する人が多く、糖尿病や肥満、高脂血症などと合併して心臓病や脳卒中になり、どうきや息切れなどの症状がでるようになってから身体の異常に気づくため、病状がかなり進行してしまっている場合があります。

また、1年に1回の健康診断では、緊張から血圧値が高めに出ることが多く、1回の測定だけで高血圧かどうかの判断はできません。

病気の早期発見や合併症の発症を抑えるためにも、普段から家庭で血圧を測定し、記録しておくことが大切です。

早朝の血圧や日内変動などを含め、通常の高血圧値を知り、生活習慣の改善や治療に役立てましょう。

◎ 血圧は常に変動しています

血圧は心臓の動きに合わせて一拍ごとに変動する大変デリケートなものです。1日のうちご自分では気付かないうちに、いろいろな状況に応じて30～50mmHgの変動をすることがあります。

また、寒い時期は、体温の発散を防ぐために血管が収縮するため血圧が上昇しやすく、夏期は逆に血圧が低くなる傾向があるようです。

こうした外的要因のほかに、ストレスや感情の起伏といった精神的なものが原因で大きく変化することがあります。つまり、測るときの状況で測定値に大きな差が出てしまうわけです。

そこで、測定による誤りをできる限り防ぎ、正しい測定値を求めるためには、本人による継続的な測定が、たいへん重要になるわけです。

<血圧を変動させる主な要因>

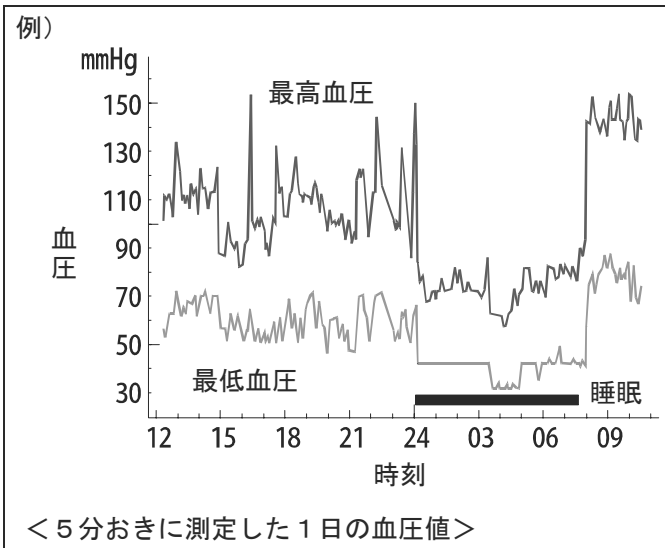
- | | |
|----------|-------------|
| 1. 運動 | 5. 飲酒、喫煙 |
| 2. 興奮や緊張 | 6. 睡眠不足 |
| 3. 食事 | 7. 温度や環境の変化 |
| 4. 入浴 | 8. 肥満 |

測定のコツは、毎日同じ時間に、5分程度安静にしてから正しい姿勢で測定することです。

また、日常の血圧変動を知るには、定期的に起床時、食事前や就寝前など1日のうち何回か測定しましょう。

これらの血圧情報は医師の診断時に大変役に立ちます。

血圧値の判断は医師にご相談ください。



- 病院で 140/90mmHg 以上、家庭で 135/85mmHg 以上*の方は 高血圧とされています。

*日本高血圧学会 高血圧治療ガイドライン 2004 年度版

● 病院と家庭で測定した値が違います

医師や看護師に血圧を測ってもらくと、一時的に緊張して家庭で測るよりも20~30mmHg高くなる場合があります。

自宅での自分の平常値を知ることが大切です。

● 血圧は正しい姿勢で測定してください

正しい血圧を測定するために次のことを心掛けてください。

- 背筋を伸ばして、姿勢よく座ってください。
- カフの中心が心臓の高さになるようにしてください。
- リラックスして、安静にしてください。
- 身体を動かしたり、おしゃべりをしないでください。



● 朝と夜、血圧を毎日測りましょう

家庭血圧は、朝と夜、測定条件を一定に継続して測りましょう。

血圧は、1日の中でも常に変動していますが、朝と夜の血圧を継続して測ることで、ご自分の血圧の傾向や平均値がつかめ、病院の測定だけでは見つけにくい早朝高血圧（*1）や白衣高血圧（*2）、仮面高血圧（*3）などの診断時の有効なデータとなります。

早朝高血圧の予防や早期発見には、朝と夜の血圧チェックが大切です。

*1：早朝、起床時に血圧が高い状態を言い、脳卒中や心筋梗塞などの脳心血管病を発症する危険性が高く、午前6時から午前10時の時間帯で多発しています。

高血圧の方にとって、朝がもっとも注意が必要です。

*2：診療時は緊張や不安から血圧が高くなり、家庭では安定した血圧になる状態を言います。

*3：診療時は正常な血圧ですが、家庭や職場では血圧が高くなる状態を言います。

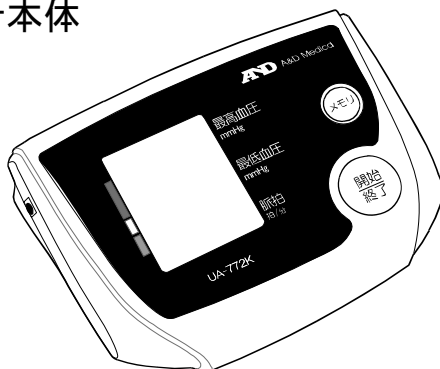


確認しましょう

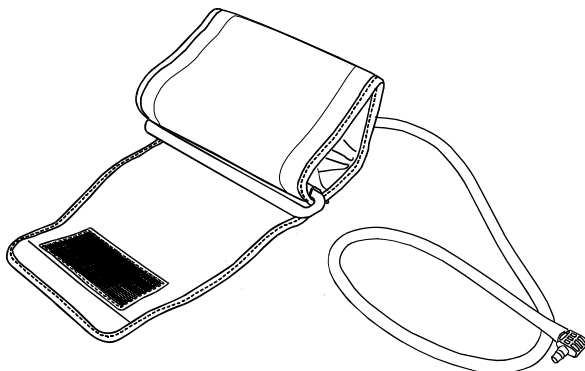
そろっていますか？


最初に、次のものがそろっているか確認してください。
万一、不足のものがありましたら、お買い上げの販売店または弊社お客様
相談センター（0120-514-016）までご連絡ください。

1 血圧計本体



2 カフ（上腕の太さ：22～32cm）



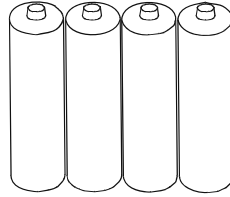
 お知らせ

●カフは消耗品です。

そろっていますか？（つづき）

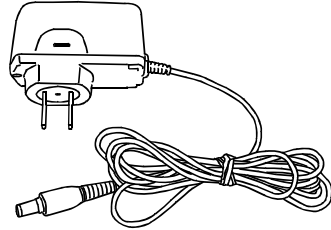
3

お試し用
単3形アルカリ乾電池
（4個）



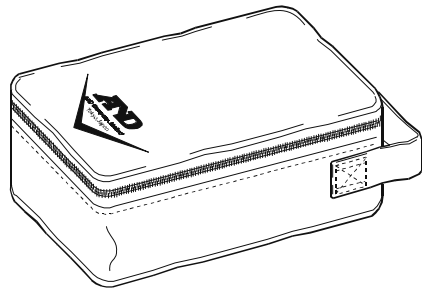
4

A Cアダプタ



5

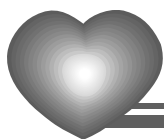
収納ケース



6

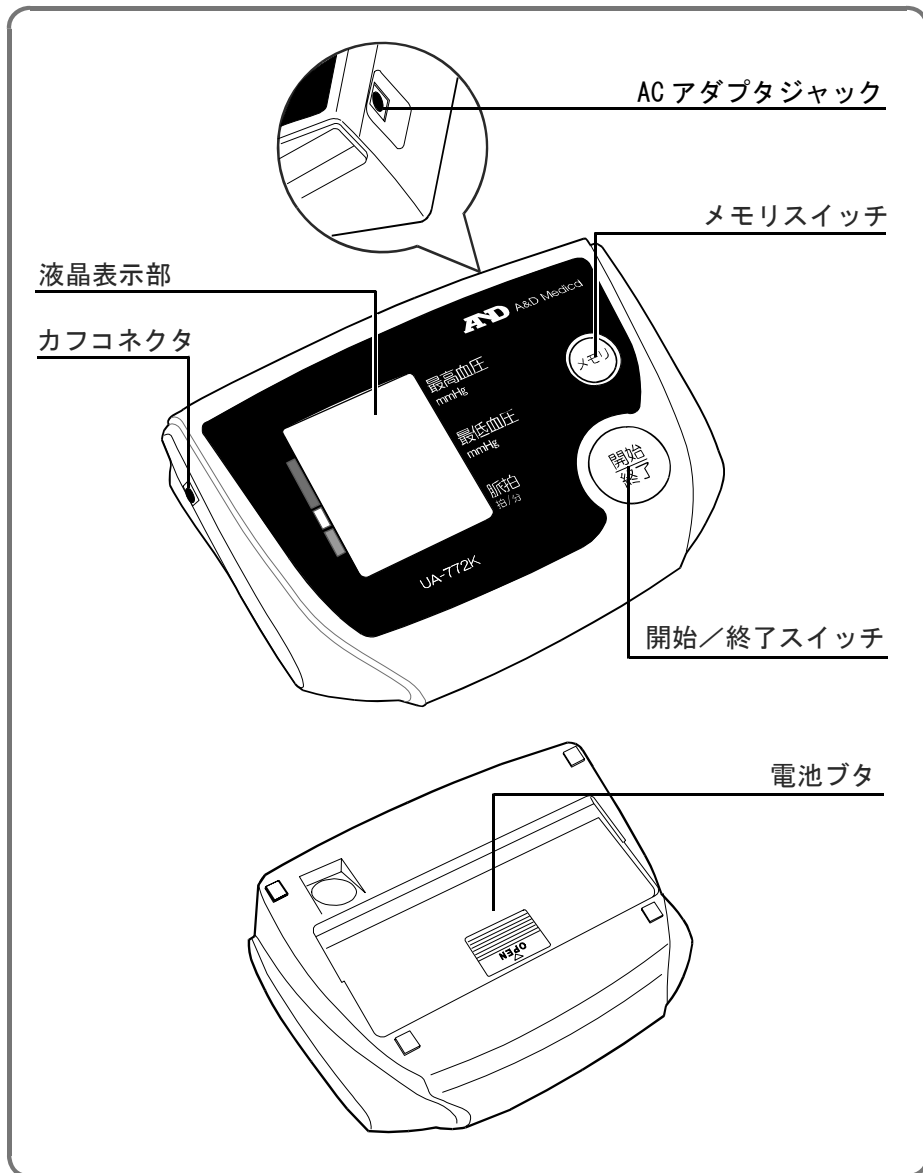
取扱説明書（保証書付き）・添付文書・血圧管理手帳



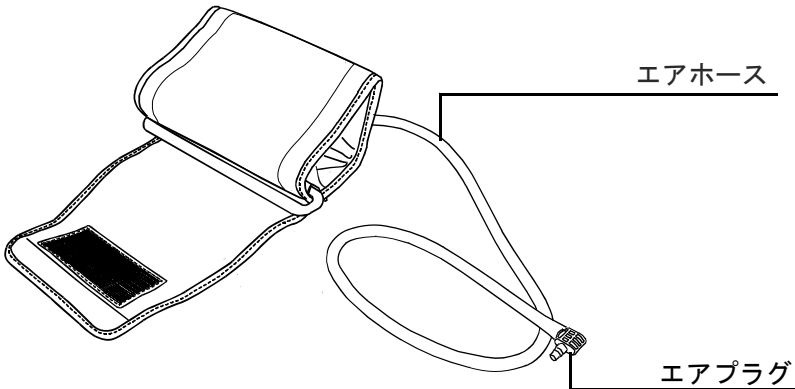


各部のなまえと表示

血圧計本体



カフ・液晶表示部



お知らせ

- 空気漏れの原因となるため、エアホース、エアプラグの抜き差しはしないでください。

メモリマーク

メモリ表示のときに点灯します。(☞ 16,17ページ)

圧力表示バー 血圧レベル表示

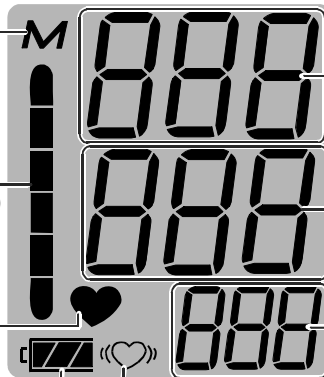
加圧の状態と血圧レベルのWHO分類を表示します。(☞ 18,19ページ)

脈拍マーク

測定中、脈を検出すると点滅します。

電池残量マーク

電池の残量を表示します。(☞ 7ページ)



最高血圧表示部

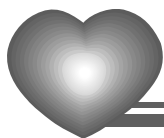
最低血圧表示部

脈拍数表示部

IHBマーク

次のときに点灯します。

- ・測定中の脈間隔に、平均の脈間隔から±25%以上差のある脈があったとき。
- ・血圧測定中に腕や血圧計を動かしたとき。(☞ 23,24ページ)



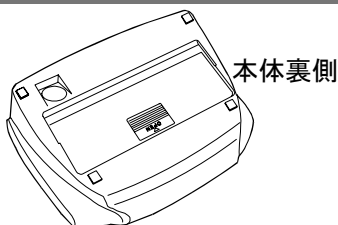
電源を準備しましょう

乾電池を入れる

お知らせ

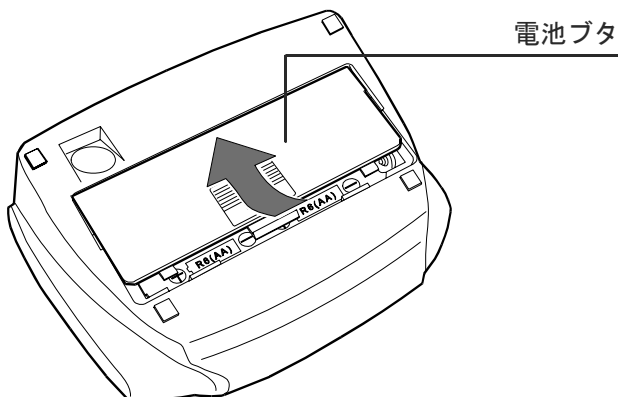
- 単3形アルカリ乾電池で約450回測定できます。
(室温23°C、180mmHg加圧の場合)
- 乾電池の寿命は、周囲の温度により変わります。冬場など、気温の低いときには短くなります。
- 本製品に付属の乾電池はお試し用のため、上記の寿命より短い場合があります。
- 単3形マンガン(またはアルカリ)乾電池は、お近くの販売店でお買い求めください。

1 血圧計本体を裏返す



2 電池ブタを開ける

電池ブタを矢印の方向にずらし、開けてください。

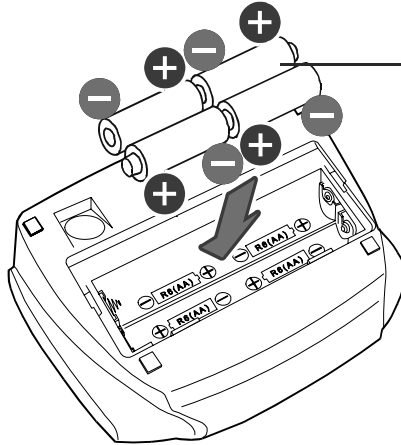




乾電池を入れる（つづき）

3 乾電池（4個）を入れる

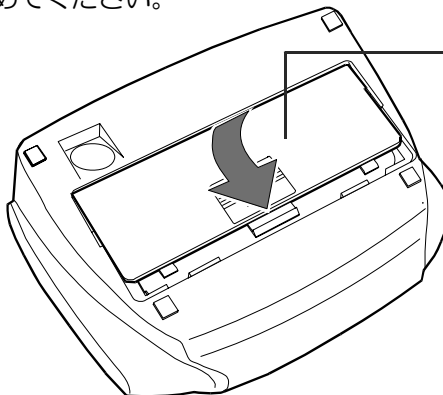
プラス（**+**）・マイナス（**-**）を間違えないように入れてください。



乾電池

4 電池ブタを閉める

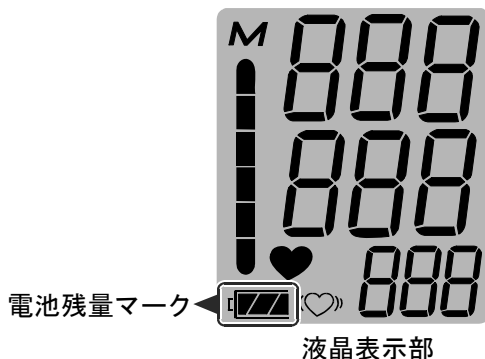
電池ブタを矢印の方向にすべらせて押さえ、「カチッ」と音がするまで閉めてください。



電池ブタ

乾電池を交換する

乾電池の交換は、液晶表示部の電池残量マークを目安にしてください。



電池残量マーク	電池の状態
	十分残っています。
	残りが少なくなっています。
	表示が点滅する場合は、新しい乾電池と交換してください。 (☞ 5～6 ページ)
表示なし	完全に消耗しています。新しい乾電池と交換してください。 (☞ 5～6 ページ)

お知らせ

- 乾電池は 4 個同時に、4 個とも同じメーカーの同じ種類のものと交換してください。

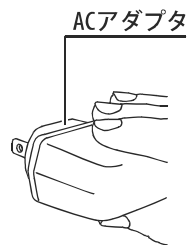
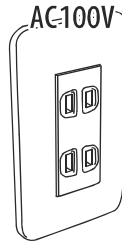
ACアダプタを使用する

専用の AC アダプタを使用すると、コンセントから電源を取ることができます。

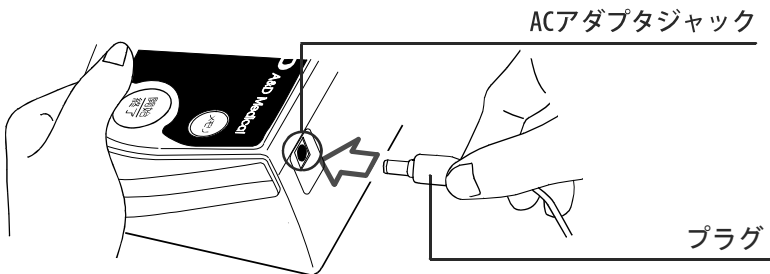
お知らせ

●AC アダプタをコンセントから抜くまえに、AC アダプタのプラグを AC アダプタジャックから抜くようにしてください。

1 AC アダプタを
コンセントに差し込む



2 プラグを AC アダプタジャックに差し込む
AC アダプタのプラグを、本体側面の AC アダプタジャックに差し込んでください。



カフを巻きましょう

カフを巻く

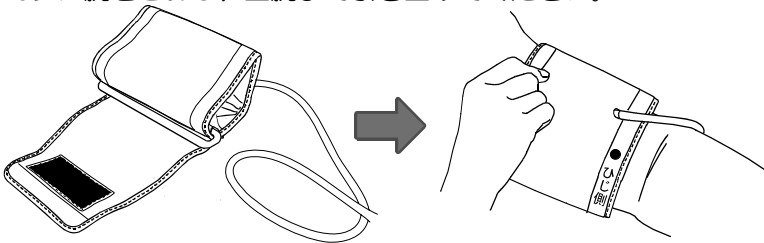
お知らせ

- 素肌に直接巻いてください。厚手の着衣は脱いでから巻いてください。
- 左腕に巻くことができないときは、右腕に巻いてください。
- 血圧測定は動脈の血液の流れを一時的に止めるまで圧迫する必要があります。人によっては圧迫による一過性の赤い跡が見られることがあります。時間とともに消えます。また、圧迫により一時的に腕に痛みやしびれを感じることがありますが、カフを外してしばらくすると治ります。

左腕に巻く

1 カフを筒状に広げて腕をとおす

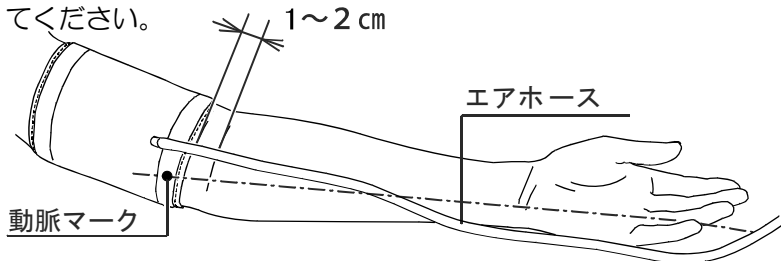
カフに腕をとおし、上腕まで引き上げてください。



2 手のひらを上に向け、カフの位置をあわせる

手のひらを上に向け、カフの位置をひじの関節から1~2cm上側にあわせてください。

また、カフの動脈マークの中心が薬指の延長線上にくるようにしてください。

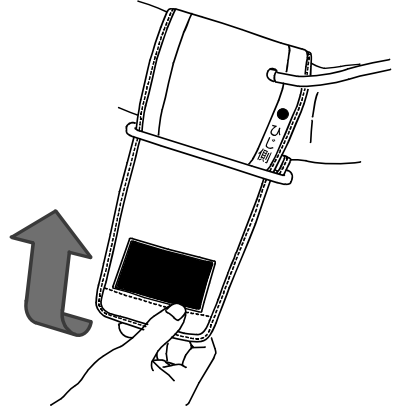


カフを巻く（つづき）

3

カフを巻きつける

カフの端を手前に引きながら、
上腕に巻きつけてください。

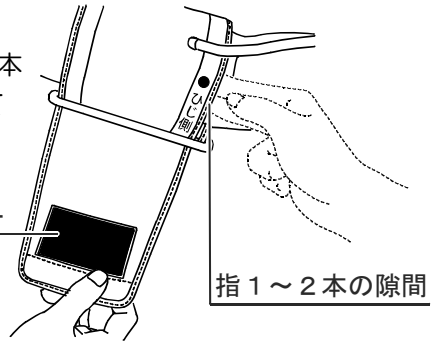


4

面ファスナーでとめる

カフと上腕の間に、指が1～2本
入る隙間ができるように巻いて
ください。

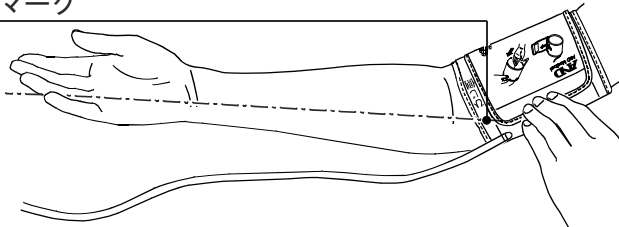
面ファスナー

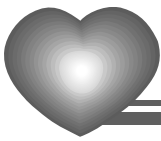


右腕に巻くときは・・・

カフの動脈マークの中心が薬指の延長線上にくるようにしてください。

動脈マーク



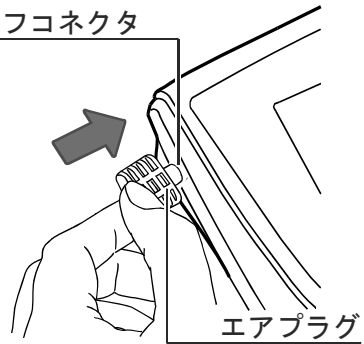


測定をしましょう

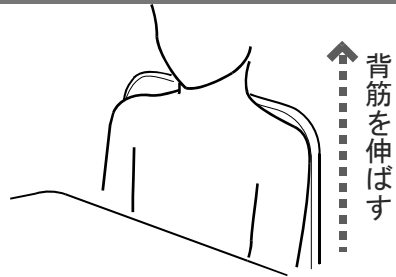
血圧を測定する

- 1 カフを正しく巻く
(☞ 9~10ページ)

- 2 エアプラグを確認する カフコネクタ
エアプラグがカフコネクタにしっかりと差し込まれているか確認してください。



- 3 正しい姿勢で座る
背筋を伸ばし、体の力を抜いてください。
(☞ x ページ)



- 4 腕をテーブルや台にのせ、
手のひらを上にして
かるく開く

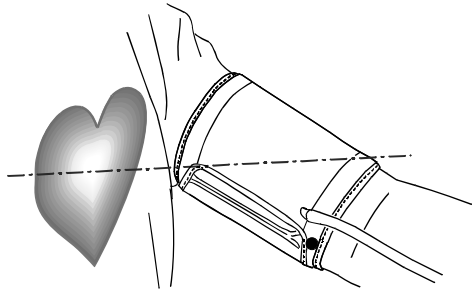




血圧を測定する（つづき）

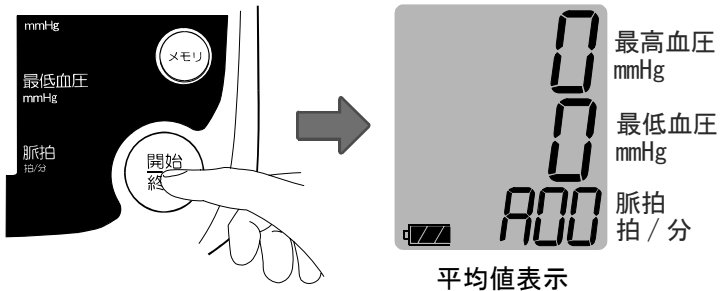
5 カフの中心が心臓の高さになるようにする

テーブルやイスの高さを調節したり、ひじの下にクッションなどを入れて調節してください。



6 開始／終了スイッチを押す

電源が入り、メモリ（☞ 16～17ページ）に記憶されている最高血圧値と最低血圧値（最大90回分）の平均値が表示されます。

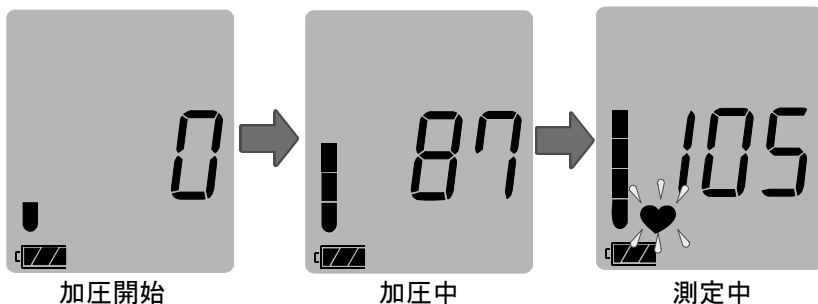


お知らせ


- 何回分の平均値なのか **A00~A90**（最大）で表示されます。
- メモリが記憶されていない場合は、上からそれぞれ **0、0、A00** と表示されます。

血圧を測定する（つづき）

- 7 つぎに加圧がはじまり、測定が行われます。



お知らせ

- 脈を検出すると、 マークが脈にあわせて点滅します。

- 測定中に加圧の不足を検出すると、最高2回まで自動的に再加圧が行われます。

測定を中止したい場合、開始／終了スイッチを押してください。

電源が切れ、カフの空気が抜けます。

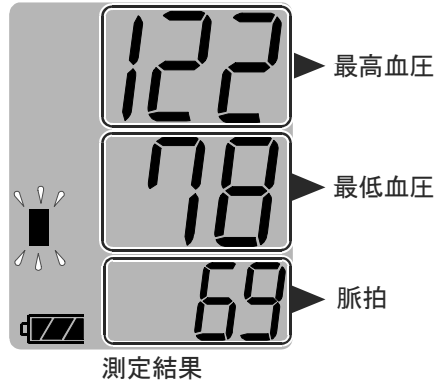


血圧を測定する（つづき）

8

測定結果を確認する

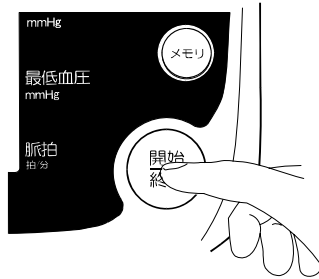
測定が終了すると、測定結果が表示され、カフに残った空気が抜けます。



9

電源を切る

開始／終了スイッチを押して電源を切ってください。



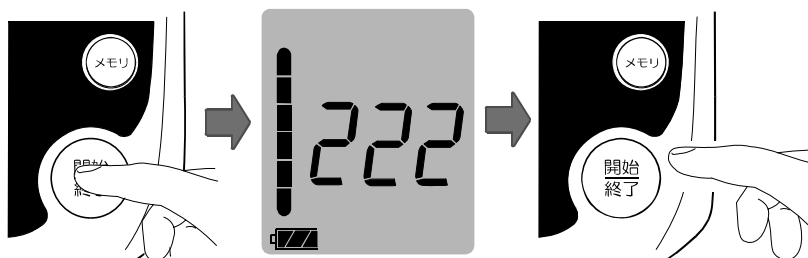
- 電源を切り忘れた場合でも、スイッチを操作しない状態で約1分間つづくと、自動的に電源が切れます。
(オートパワーオフ機能)

手動加圧で測定する

自動加圧で適切な加圧ができない場合は、手動加圧で測定してください。

1 開始／終了スイッチを押しつづける

予想される最高血圧より 30~40mmHg 高い値になるまで、開始／終了スイッチを押しつづけてください。



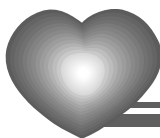
開始／終了スイッチ
を押しつづける

予想される最高血圧値
より 30~40mmHg 高い値

開始／終了スイッチ
を押すのをやめる

お知らせ

- 加圧値が 300mmHg をこえると加圧が止まり、自動的に測定を開始します。



便利な機能

メモリ機能について

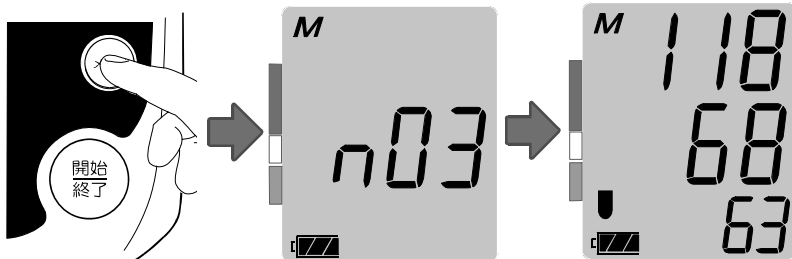
この血圧計は、90回分の測定値を自動的に記憶するメモリ機能をもっています。

測定が90回をこえると、一番古い測定値から自動的に消去され、新しい測定値を記憶します。

メモリを表示するには・・・

1 メモリスイッチを押す

もっとも新しいメモリ番号が表示（約3秒間）され、つぎに測定値が表示（約3秒間）されます。



メモリスイッチを
1回押す

もっとも新しいメモリ
番号を表示（約3秒間）

測定値を表示
（約3秒間）

2 メモリ番号または測定値が表示されているときにメモリスイッチを押す

2番目に新しいメモリ番号が表示（約3秒間）され、つぎに測定値が表示（約3秒間）されます。

お知らせ

- メモリスイッチを押すたびに、ひとつまえのメモリ番号と測定値が表示されます。
- 血圧測定中は、メモリを表示できません。
- もっとも古いメモリを表示中にメモリスイッチを押すと電源が切れます。

メモリ機能について（つづき）

（前ページからのつづき）

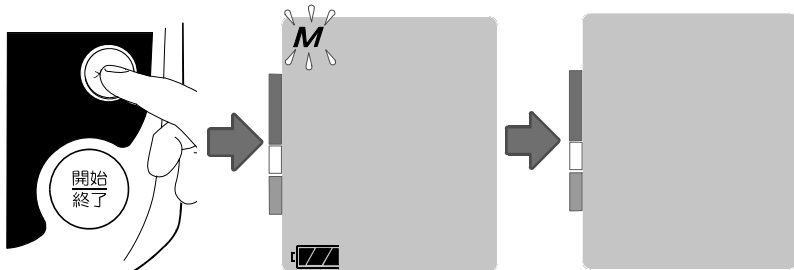
お知らせ

- スイッチを操作しない状態が約1分間つづくと、自動的に電源が切れます。
- 表示を中止する場合は、開始／終了スイッチを押してください。

メモリを消去するには・・・

1 メモリスイッチを5秒以上押す

液晶表示部のメモリマークが点滅し、メモリがすべて消去されます。



メモリスイッチを
5秒以上押す

メモリマークが点滅

メモリをすべて消去

または、電池ボタンを開けて、乾電池を外してください。ACアダプタ
ジャックからACアダプタのプラグを外してください。

乾電池を外した状態で3分以上放置していただくか、開始／終了スイッチ
を押してください。記憶された測定データが全て消去されます。

お知らせ

- 記憶されているメモリがすべて消去されます。
- 消去したいメモリを選択することはできません。
- 乾電池の取り外し方 ➡ 5～6ページ。
- ACアダプタの取り外し方 ➡ 8ページ。

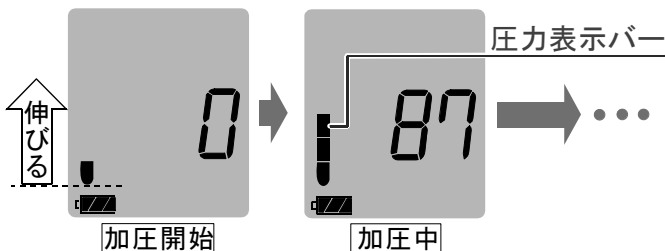


圧力表示バーの機能について

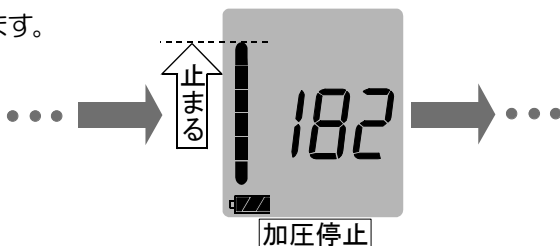
液晶表示部の圧力表示バーによって、カフ内の加圧状態が一目でわかります。加圧がはじまると、圧力表示バーが以下(1⇒2⇒3)のように変化していきます。

圧力表示バーの変化（加圧がはじまったあと）

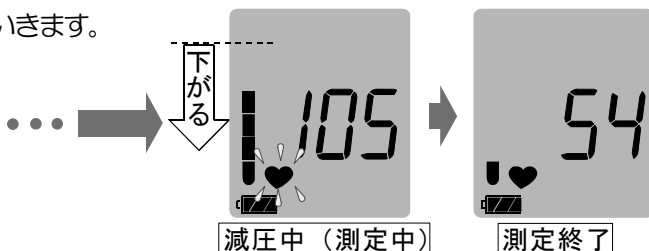
1 加圧がはじまると同時に、圧力表示バーが下から伸びていきます。



2 圧力表示バーが全点灯すると（一番上まで伸びると）、加圧は止まります。



3 その後、減圧するにしたがって圧力表示バーは下がって（縮んで）いきます。

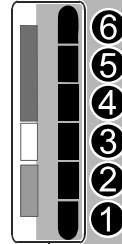


圧力表示バーの機能について (つづき)

血圧レベル表示 (WHO血圧分類表示)

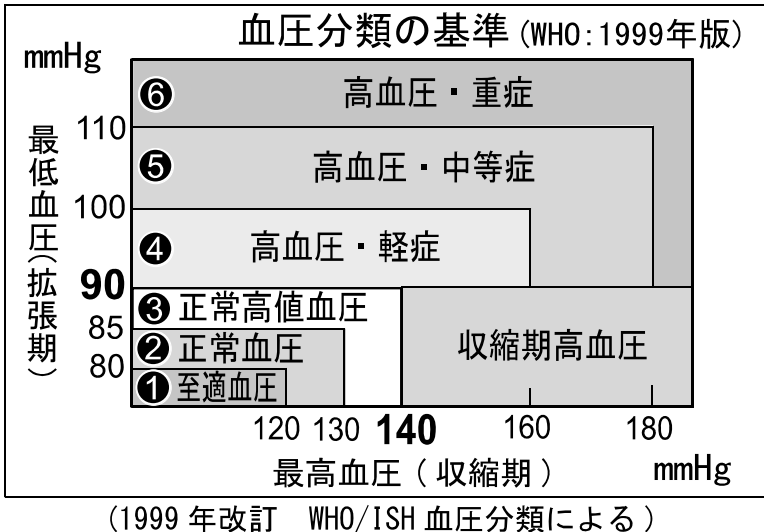
血圧分類の基準は、世界保健機関 (WHO) と国際高血圧学会 (ISH) が制定しています。

測定が終わると、測定値がWHO分類での領域に位置するのか、圧力表示バーが点灯してお知らせします。



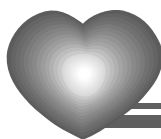
圧力表示バー
血圧レベル表示

液晶表示部



●病院で 140/90mmHg 以上、家庭で 135/85mmHg 以上*の方は高血圧とされています。

*日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン 2004 年度版



お手入れについて

お手入れと保管

血圧計が汚れたときは、次の手順で水や中性洗剤をしみこませた布で拭いてください。

汚れを拭き取った後は、乾いたやわらかい布で、から拭きをしてください。

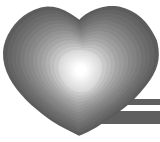
お手入れの注意

- ベンジン・シンナー・アルコールなどは使用しないでください。
- カフは、洗濯したり、ぬらしたりしないでください。

保管の注意

- 高温・多湿、直射日光、ホコリの多い場所は避けてください。
- 長期間（1ヶ月以上）使用しない場合は、乾電池を取り出してください。
- カフおよびエアホースを無理に折り曲げないでください。





血圧について

血圧とは

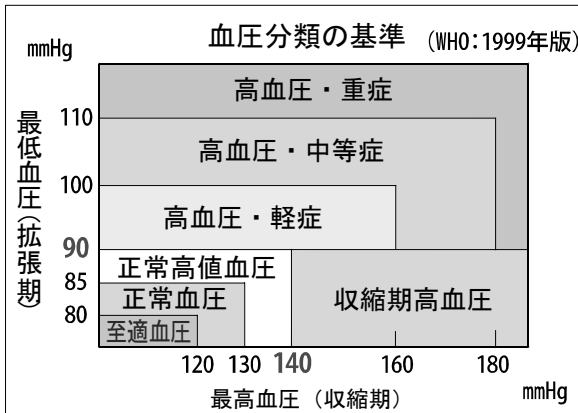
血液は、心臓のポンプ作用によって左心室から動脈内に送りだされ、大動脈 → 細動脈 → 毛細血管を循環して静脈血となって右心房に戻ってきます。

一般的に血圧と呼んでいるのは、動脈内を流れる血液のもつ機械的な圧力です。心臓が収縮し、その圧力によって血液が送り出されたときの血圧が最も高く最高血圧となり、逆に心臓が拡張して大静脈から血液が返ってきたときの血圧が最も低く最低血圧となります。

通常血圧測定は、上腕を測定部位として行います。

血圧分類の基準

血圧分類の基準は、世界保健機関（WHO）と国際高血圧学会（ISH）が制定しています。



(1999年改訂 WHO/ISH血圧分類による)

●病院で 140/90mmHg 以上、家庭で 135/85mmHg 以上*の方は高血圧とされています。

*日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン 2004 年度版





高血圧の症状とは

初期の高血圧症では、頭痛・肩こり・めまい・耳なり・動悸・息切れなどが起こりがちです。また、しびれや眼底出血が起こることもあります。頭痛は、とくに起床時に、強い後頭部の頭重感があります。ときには、吐き気を伴います。なお、こうした症状は血圧の急激な上昇によって現れることが多いのですが、血圧が高い状態が続くと、あまり自覚症状がなくなってしまいます。

高血圧気味の方は、症状が出ないからといって油断せず、定期的に血圧を測るなどして、健康管理には充分気をつけましょう。

高血圧について

なぜ高血圧になるのか、実のところよくわかっていません。

高血圧は、本態性高血圧と二次性高血圧の2つの種類に分けられ、95%以上が本態性高血圧です。

二次性高血圧症は、血圧が高くなる病気によって起こる高血圧症です。腎炎や妊娠中毒、内分泌異常などの影響によります。この場合は、原因となっている病気を治せば血圧も自然に下がります。

一方、本態性高血圧症は、原因がはっきりせず、血圧だけが低い状態のことをいいます。長期にわたるストレスや、塩分の取りすぎ、肥満や遺伝的体質が重なり合って現れるようです。

なかでも遺伝の影響は大きく、両親が高血圧の場合は約60%、片親が高血圧の場合は約30%の確率でお子様が高血圧の体質が遺伝するようです。血縁関係者に心当たりのある方は、注意が必要です。

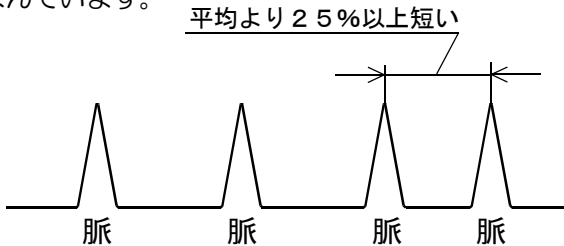
脈とは

心臓のポンプ作用によって押し出される血液の拍動が血管に伝わって感じられるのが「脈」です。

この脈は、心臓の上の方にある「洞結節」というところで作られた電気刺激が、心臓内の伝導路を通して心臓全体に伝わり、心臓の筋肉が収縮する作用により血液が送り出されることで発生しています。

IHB（Irregular Heart Beat：不規則脈波）とは

IHB（不規則脈波）とは脈間隔の「ゆらぎ」を意味しています。測定中の脈間隔のうち、平均の脈間隔から±25%以上差のある脈をIHBとよんでいます。



脈間隔の「ゆらぎ」は、生理的な要因によるものから、心臓や、その他の疾患によるものまで、様々な原因で起こります。

お知らせ

- 一般的に脈間隔がゆらぐ生理的要因として、運動・体温上昇・加齢・体質・感情変化などが考えられます。

IHB マークとは

液晶表示部のIHBマーク(☞4ページ)は次の2つの場合に点灯します。

1. 測定中の脈間隔に、平均の脈間隔から $\pm 25\%$ 以上差のある脈があった場合。
2. 血圧測定中に、腕や血圧計を動かした場合。

IHB は不整脈？

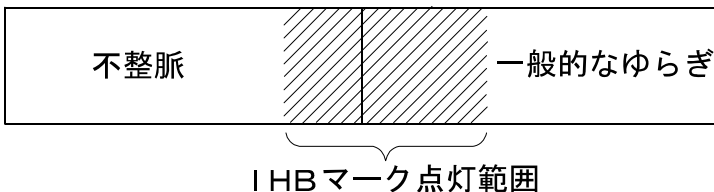
脈間隔のゆらぎ原因のひとつ「不整脈」は、脈を作り出す電気系統に異常がある場合に起こる病気とされています。

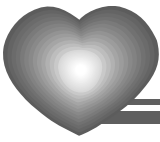
また、高血圧の人や、肺・甲状腺などに異常がある場合にも、不整脈は出やすいと言われます。

IHBマークが点灯しても不整脈かどうかは、医師による診断がないとわかりません。

📢お知らせ

- 何度測定してもIHBマークが表示される場合は、医師にご相談ください。





血圧 Q&A

どうしてかな？と思ったら・・・

?
Q

病院で測ったときと、家で測ったときでは測定結果が違うのですが・・・



A 病院では、落ち着いて測定できましたか？

医師や看護師に血圧を測ってもらくと、一時的に緊張して家で測るよりも20~30mmHg高くなることがあります。

?
Q

測定値が測るたびに違うのですが・・・



A 毎日同じ時間帯に測定していますか？

正しい血圧管理のために、毎日同じ時間帯に測定してください。



A 血圧はいろいろな要因で変動します

家庭で測定したときでも、次のようなときは測定値が変わることがあります。

- 食後の約1時間以内
- お酒、コーヒー、紅茶を飲んだ後
- 喫煙の後
- 入浴の後
- 運動の後
- 排尿、排便の後
- 会話



A つづけて測定して、腕がうっ血していませんか？

腕は圧迫されると、手先に血液が溜まる、うっ血状態になることがあります。うっ血を治すには、腕を高く上げ、手のひらを握ったり開いたりしてください。




修理を依頼するまえに

エラー表示がでたときは

エラー内容	原因	内容・対処のしかた
Err	測定中に腕や体を動かした	腕や体を動かさないようにして、もう一度測定してください。 (☞11～15ページ)
Err CUFF	カフを正しく巻いていない	カフを正しく巻きなおして、もう一度測定してください。 (☞9～10ページ)
	カフを血圧計本体にしっかり接続していない	カフを血圧計本体にしっかり接続しなおして、もう一度測定してください。 (☞11ページ)
(脈拍数) 表示部 Err	脈拍が正確に測定できない	カフを正しく巻きなおして、もう一度測定してください。 (☞9～10ページ)




故障かな？と思ったら

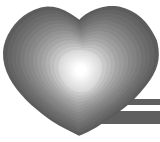
こんなとき	ここを確認	対処のしかた
開始／終了スイッチを押しても何も表示されない	電池が完全に消耗していませんか？	乾電池を交換してください。 (☎5～7 ページ)
	乾電池の入れかたは正しいですか？	乾電池を正しく入れなおしてください。 (☎5～6 ページ)
圧力があがらない	エアプラグを血圧計本体にしっかり接続していますか？	エアプラグを血圧計本体にしっかり接続しなおしてください。 (☎11 ページ)
	 が点灯していませんか？	乾電池を交換してください。 (☎5～7 ページ)
加圧後、すぐに圧力が下がり、測定状態にならない	カフを正しく巻いていますか？	カフを正しく巻きなおしてください。 (☎9～10 ページ)
測定できない または測定値が異常に低い(高い)	カフを正しく巻いていますか？	カフを正しく巻きなおしてください。 (☎9～10 ページ)
	測定中、安静にしていますか？	測定中は、話したり動いたりせず、安静にしてください。 (☎x ページ)
	カフの高さは正しいですか？	正しい姿勢で座り、カフの中心が心臓の高さになるようにしてください。 (☎12 ページ)

故障かな？と思ったら（つづき）

こんなとき	ここを確認	対処のしかた
測定できない または測定値が異常に低い（高い）	—	不整脈の方や脈の弱い方は、測定できないことがあります。
ACアダプタのプラグを差し込んでも何も表示されない	専用のACアダプタ（TB233）ですか？	専用のACアダプタを使用してください。 （☞8ページ）
	ACアダプタのプラグを正しく差し込んでいますか？	ACアダプタのプラグを正しく差し込んでください。 （☞8ページ）
	ACアダプタをコンセントに正しく差し込んでいますか？	コンセントに正しく差し込んでください。 （☞8ページ）
測定のたびにIHB（不規則脈波）マークが表示される	測定中、安静にしていますか？	腕や体を動かさないようにして、もう一度測定してください。 （☞11～15ページ） 何度測定しても表示される場合は、医師にご相談ください。 （☞23～24ページ）
そのほかの現象	病院での測定値と異なる	腕や体を動かさないようにして、もう一度測定してください。 （☞11～15ページ）
	—	乾電池を外して正しく入れなおし、最初から測定をやりなおしてください。

 お知らせ

- 表示された血圧値に関しては、医師にご相談ください。



仕様について

仕 様

販 売 名	エー・アンド・デイ デジタル血圧計 UA-772
型 名	UA-772K
測 定 方 式	オシロメトリック方式
測 定 範 囲	圧力：0～280mmHg 脈拍数：40～180 拍／分
精 度	圧力：±3mmHg 脈拍数：読み取り数値の±5%
表 示	最高血圧、最低血圧、脈拍数の3桁同時表示
機 能	圧力表示バー、不規則脈波検出（IHB）、 血圧レベル表示、平均値表示、メモリ 90回
加 圧	自動加圧方式
減 圧	定降圧自動排気弁方式
排 気	電磁弁による自動急速排気方式
電 撃 保 護	内部電源機器 B 形装着部（乾電池使用時） クラスⅡ B 形装着部（AC アダプタ使用時）
電 源	単3形マンガン（またはアルカリ）乾電池4個（DC6V） AC100V（AC アダプタ使用時）
電 池 寿 命	単3形アルカリ乾電池4個使用時 約 450 回 （室温 23℃、180mmHg 加圧の場合）
外 形 寸 法	幅 147 (mm)×高さ 64 (mm)×奥行き 110 (mm)
本 体 質 量	約 300g（電池を除く）
使 用 温 湿 度	+10℃ ～ +40℃、30～85%RH
保 存 温 湿 度	-10℃ ～ +60℃、30～95%RH
付 属 品	お試し用 単3形アルカリ乾電池（4個）、AC アダプタ、 取扱説明書（保証書付き）・添付文書、血圧管理手帳、 収納ケース



仕 様

医療機器 認証番号	219AHBZX00016000
類 別	機械器具 18 血圧検査または脈波検査用器具
一般的名称	自動電子血圧計
医療機器分類	管理医療機器
製造販売業者	株式会社 エー・アンド・デイ 住所：〒364-8585 埼玉県北本市朝日 1-243 電話：0120-514-016（お客様相談センター）

EMC適合 本製品はEMC規格IEC60601-1-2:2001に適合しています。

本製品はJIS規格JIS T1115:2005に適合しています。

※お断りなく、仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。